

令和6年度 実証実験・開発における伴走支援等推進事業業務委託 業務説明資料

本資料に記載した内容には、現在、検討中のものも含まれるため、本プロポーザルのみの設定条件とする。

1 件名

令和6年度 実証実験・開発における伴走支援等推進事業業務委託

2 業務目的

本市は、イノベーションを推進する事業のひとつとして、スタートアップや市内中小企業等を対象に、AI・IoT、自動走行、ドローン等の近未来技術を活用した、新たな製品やサービスの実証実験・開発における支援を進めている。

本事業は、これらの社会実装に向けた実証実験等の伴走支援を行うことを目的としている。

3 事業の背景と今後の方向性

経済局では、横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）の先端技術に関する新ビジネス創出を目的として、実証実験支援やマッチングイベント、展示会への出展支援などを実施してきた。

今後については、本事業受託者の知見も活用しながら、横浜市の実証実験環境を強化し、新たな製品やサービスの実証実験・製品開発における伴走支援により、オープンイノベーションのプレイヤーの集積を進め、スタートアップエコシステムの形成を目指していくものとする。

4 事業概要

(1) 委託契約期間

契約締結日から令和7年3月31日までとする。

(2) 概算業務価格

5,000千円（税込）を上限とする。

(3) 履行場所

横浜市内等

5 委託業務概要

(1) 委託内容

ア フィールド先行型実証実験の企画から審査までの運營業務

実証実験の機会・場の提供を行うフィールド提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、企業から課題に沿った提案を募集するフィールド先行型実証実験の企画から審査までの運営を行う。業務内容は、実証実験のフィールド提供主体を選定し、解決を目指す課題を本市及びフィールド提供主体と連携しながら、設定すること。また、設定した課題を元に企業から課題に沿った提案を募集し、必要に応じて説明会等を開催すること。（募集開始前のワークショップ実施分も含む）寄せられた提案の中から、実現可能であり、かつフィールドの課題解決につながるような提案を選定するための審査会を運営すること。

イ 事業の方向性の検討にかかる情報収集・分析

社会の動向を見据え、実証実験支援事業の今後のあり方を検討する際に、本事業がどのように横浜市に還元されるのか等、今後の方向性に関する施策の裏付けとなる情報の収集や分析を行う。

ウ 個別の実証実験等に関する助言業務

個別で実施する実証実験等について、専門的知見を活かし、社会実装を見据えた助言を行う。

(2) 報告書の提出

ア 事業実施結果報告書（簡易製本にて1部のほかに電子データにより納品）

イ その他委託者が必要と認めるもの

6 委託料の支払い

事業実施結果報告書を提出後、委託者が検査した後に支払うものとする。

7 条件・仕様など

(1) 参考見積書

上記概算業務価格に基づき、参考見積書を作成し、提出するものとする。

なお、提案する事業内容に応じ、金額の内訳を明確にするものとする。

(2) その他

別添「業務委託仕様書」のとおり